

- 朝鮮新報 - <http://chosonsinbo.com/jp> -

日本軍性奴隷被害を告発する書、出版記念シンポひらかれる

Posted By [hyonju610](#) On 2018/06/27 @ 1:51 PM In [歴史](#) | [Comments Disabled](#)

“事実の捻じ曲げは誤報訂正とはいわない”

ジャーナリスト・今田真人氏の著書「極秘公文書と慰安婦強制連行」の出版を記念して、シンポジウム「終わらない『慰安婦』問題」が6月22日、東京都豊島区のIKE Biz多目的ホールで開かれた。



今田真人、鈴木裕子、梁澄子の3氏が報告を行った

今年2月に出版された本書は、過去に軍令のもと濟州島で朝鮮人女性を強制的に連行したとする吉田清治氏の証言について、記者出身で現在フリージャーナリストの今田氏が、再検証したもの。

外務省関連の公文書をはじめ、国立図書館などに眠る膨大な資料の一つ一つを、事実とすり合わせながら、日本が戦時・戦中に起こした加害の歴史へ接近を試みた。

この日、司会進行を東京造形大の前田朗教授がつとめるなか、今田氏が「吉田証言は生きている」というテーマで報告を行い、女性史研究者の鈴木裕子氏が「慰安婦問題と女性史研究の現在」について、日本軍「慰安婦」問題解決全国行動共同代表の梁澄子氏が「慰安婦サバイバーの闘いの意味」について、それぞれ報告した。

今田氏は、報告のなかで、著書の各章における要点と注目点について述べながら、「32年間記者をやってきて、最も慎重に何度も取材を重ねたのが吉田証言と関連する記事だった」とする一方、「（当時、記事掲載にあたり）書いたものをすべて電話で読み上げ、吉田氏本人の確認を得たうえで記事を出したにもかかわらず、朝日新聞の『訂正記事』につづき私の記事も取り消された」として真実を隠蔽する動きが加速する日本で、「慰安婦」問題について追うことの必要性にかられたと、出版の経緯を語った。

そのうえで同氏は、「安倍首相は、吉田証言を詐欺とし、暴力的な強制連行はなかったとしたが、この吉田証言の否定は、植民地朝鮮での日本政府・軍による『慰安婦』への暴力的な強制連行という歴史事実のすべてを

否定することになる。強制連行の否定そのものだ」としながら「事実を捻じ曲げることを誤報の訂正とはいわない」と、歴史事実の「修正」が横行する日本の言論状況について危惧を示した。

その後に行われた質疑応答では、「なぜこの問題を各紙が扱わないのか」という会場からの質問に対し、今田氏が回答。同氏は、「これはただ単に歴史学の問題ではなく、メディアや革新政党が戦中の国家犯罪を擁護する戦犯勢力の圧力に屈服していいのかという、きわめて重要な政治問題だ」と、吉田証言と関連した「慰安婦」問題の一切を報道しない日本メディアの姿勢を批判した。（韓賢珠）



[Tweet](#)



Article printed from 朝鮮新報: <http://chosonsinbo.com/jp>

URL to article: <http://chosonsinbo.com/jp/2018/06/hj1806272/>

Copyright © 2012 **The Choson Sinbo**. All rights reserved. すべての著作権は**朝鮮新報社**またはその情報提供者に帰属します。